

## 新たな成長産業の育成

新ビジョン体系	5-1 (2)	担当部局	経済産業部 産業イノベーション推進課 新産業集積課
---------	---------	------	------------------------------

### ❖ 目 標

地域企業の成長産業分野への参入を促進し、経済変動に強い産業構造を構築します。

### ❖ 施策に関する指標

成果指標	基準値	現状値	目標値	区分
新成長分野の経営革新計画新規承認件数	(2013～2016年度) 累計436件	(2018～2019年度) 累計236件	(2018～2021年度) 累計440件	B
試作・実証試験助成制度等を活用した成長分野における製品化件数	(2013～2016年度) 累計37件	(2018～2019年度) 累計22件	(2018～2021年度) 累計40件	B

活動指標	基準値	現状値	目標値	区分
コーディネータ(CNF、航空宇宙等)の企業訪問件数	(2014～2016年度) 平均252社	(2019年度) 565社	毎年度470社	
次世代産業創出に係る県制度融資等利用件数	(2016年度) 326件	(2019年度) 478件	400件	
新成長戦略研究の成果の新たな実用化件数	(2016年度) 7件	(2019年度) 15件	毎年度8件	
特許流通アドバイザーによる知的財産の活用マッチング件数	(2013～2016年度) 平均48件	(2019年度) 75件	毎年度70件	

### ❖ 施策推進の視点・主な取組

#### 👉 視点1 デジタル実装の推進による「命を守る産業」の基盤強化

##### デジタル実装の推進による「命を守る産業」の基盤強化

新型コロナウイルスの感染リスクの軽減と経済活動の両立を図るため、デジタル技術を活用して遠隔・非接触を促進するとともに、デジタル技術の実装による強靱な産業構造への転換を図ります。

#### 👉 視点2 医療・健康産業等の先端産業の集積

##### 医療・健康産業等の先端産業の集積

医療用防護具等の不足など、新型コロナウイルス感染症で顕在化した課題に対し、本県ものづくり力を結集して迅速に対応することにより、医療現場の課題解決を図るとともに、医療機器産業等の基盤強化につなげ、医療・健康産業等の先端産業の集積を図ります。

## 1 現状・課題と県の施策

### 【現状・課題1】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、テレワークやWEB会議が普及するなど、デジタル化の潮流は、これまで以上に加速化することが予想されますが、ICT人材は、国レベルで不足しています。

- ICT企業の多くは、首都圏に集積しているため、本県では、必要なICT人材の確保が課題となっています。
- 本県は、製造業中心の産業構造ですが、ものづくりとデジタルを融合することにより、新たなイノベーションの創出が期待されます。

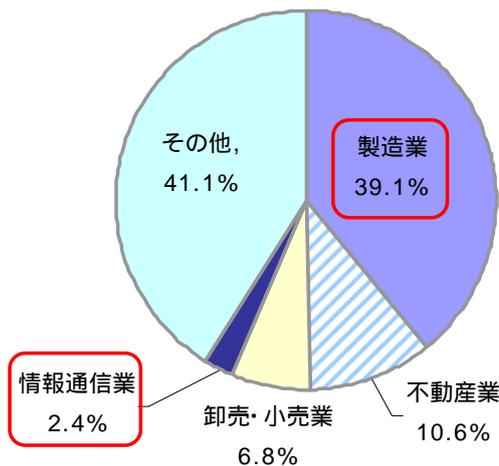
#### 視点1 デジタル実装の推進による「命を守る産業」の基盤強化

県内産業のデジタル実装を加速化します。

主な取組➡ 県内産業のデジタル実装の促進（ICT人材確保・育成、IoT導入促進）

#### 1 本県の産業構造（経済活動別の県内総生産）

本県の県内総生産は、製造業の割合が最も多く、全体の約4割を占めています。一方で、情報通信業の割合は、約2.4%にとどまっています。



（出典：平成29年度静岡県の県民経済計算）

#### 2 本県のICT人材数（情報通信業従事者数）

県内の産業人口のうち、情報通信業従事者の割合は1.1%であり、全国平均2.9%の半数以下に留まっています。

情報通信業は、多くが東京を中心とした首都圏に集積しています。

区分	情報通信業				全産業	
	事業所数	構成比	従業者数	構成比	事業所数	従業者数
全国	63,574	1.2%	1,642,042	2.9%	5,340,783	56,872,826
東京都	21,935	3.5%	849,374	9.4%	621,671	9,005,511
静岡県	1,261	0.7%	19,333	1.1%	172,031	1,712,983

（事業所数全国順位）

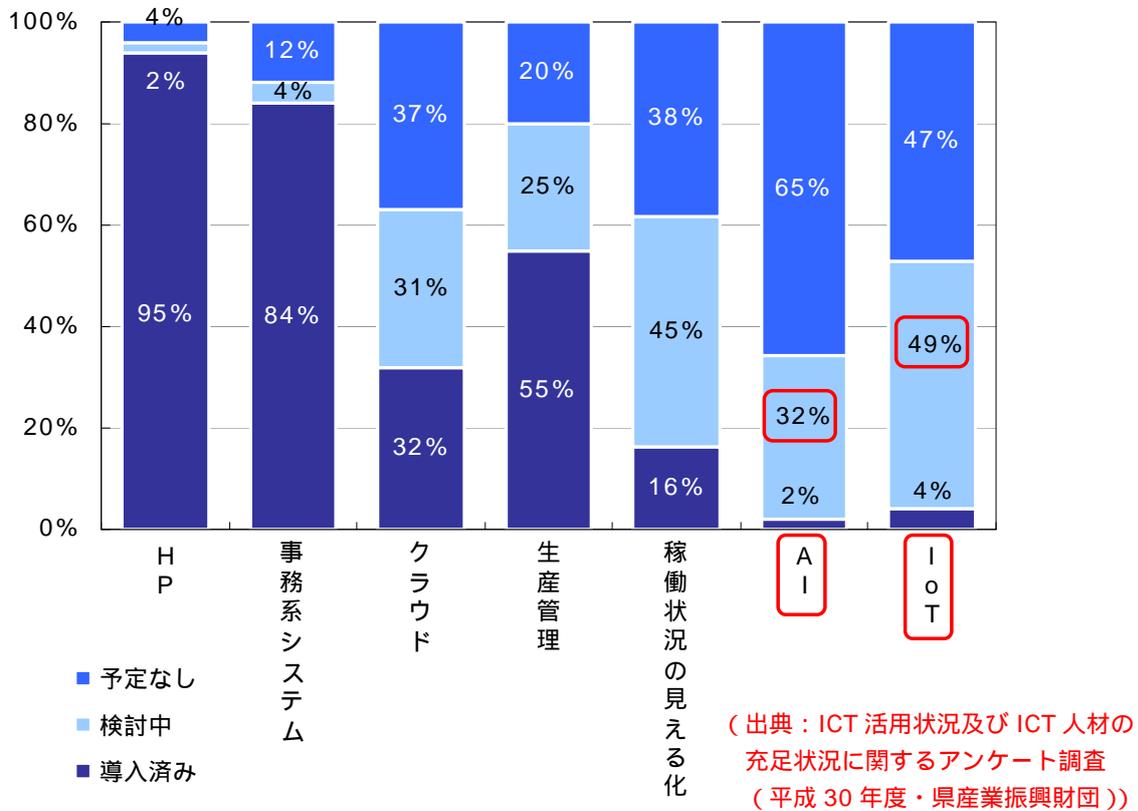
東京都（34.5%） 大阪府（9.2%） 神奈川県（5.9%）... 静岡県（2.0%）

（出典：平成28年度経済センサス活動調査）

### 3 県内企業の ICT 人材ニーズと ICT の活用状況

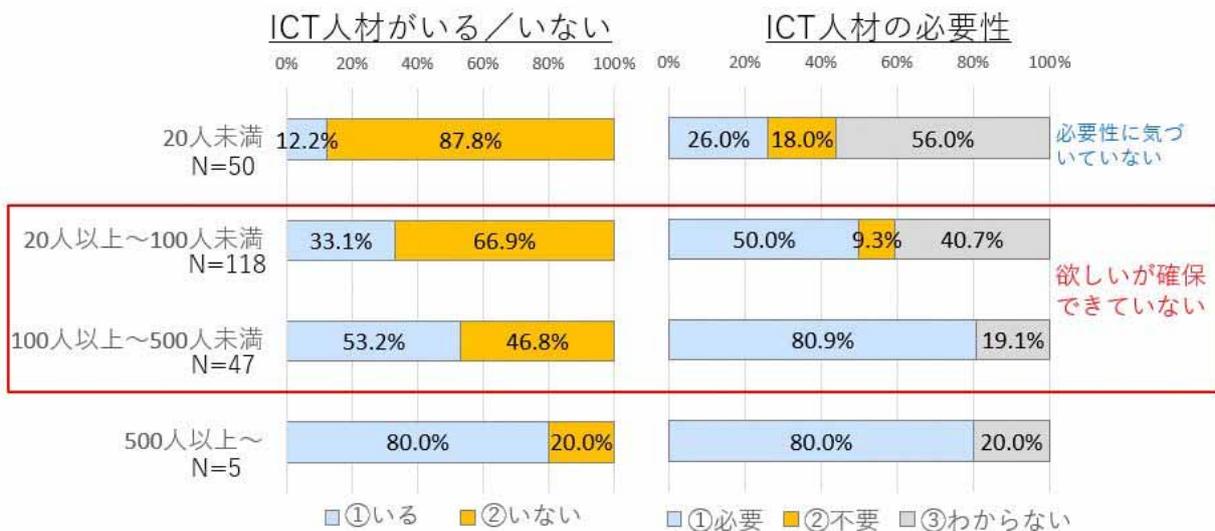
#### (1) 県内企業（主に製造業）の ICT 活用状況

IoT や AI を活用している企業は限定的ですが、今後の導入を検討している企業は AI で 32%、IoT で 49%と半数近くあり、ICT 活用への関心が高くなっています。



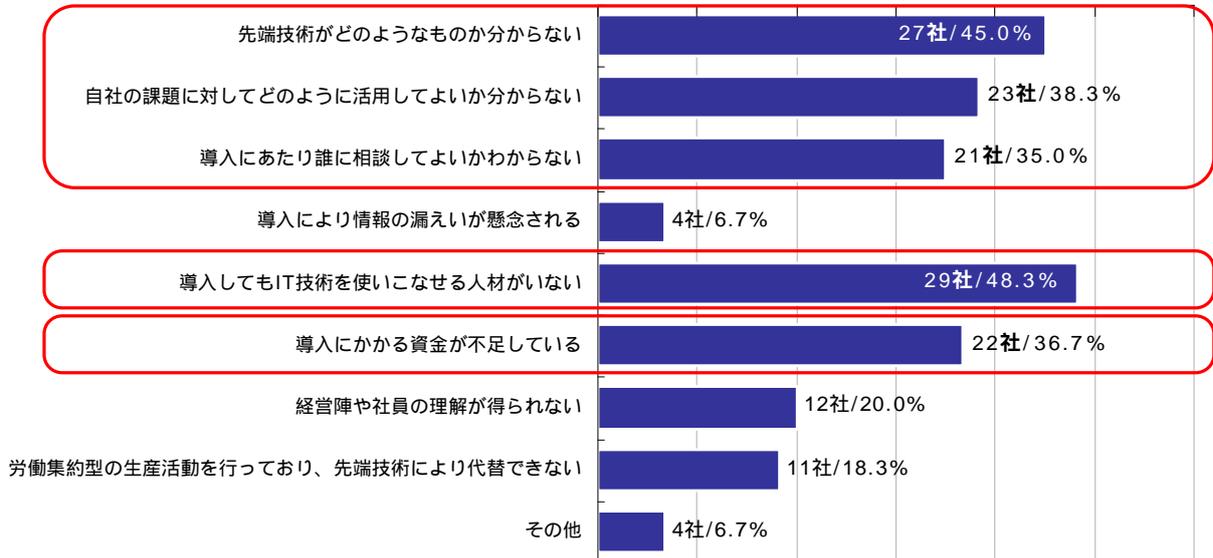
#### (2) 企業規模別、ICT 人材の確保状況と必要性

企業規模が小さいほど、ICT 人材が不在である割合が大きくなっています。多くの企業が ICT 人材の必要性を認識していますが、従業員数が 20 人以上 100 人未満の企業の約 7 割、100 人以上 500 人未満の企業の約 5 割で確保ができていない状況です。



(3) 中小企業で先端技術の活用が進まない理由

IoT等の先端技術が進まない理由としては、「先端技術がどのようなものかわからない」、「どのように活用してよいかかわからない」、「導入にあたり誰に相談してよいかかわからない」といった回答が多いほか、人材面の課題や資金・費用面の課題が多くなっています。



(出典：東海地域における先端技術 (IoT、AI 等) の活用状況 (東海財務局))

4 本県の ICT 人材数 (大学生、高専生ほか)

情報科学を専攻する大学生、高専生は、1 学年約 780 人と、首都圏に比較して ICT 人材の供給量が限定的であるため、県内の ICT 企業は ICT 人材の採用が困難であり、それ以外の企業では、さらに困難な状況となっています。

(県内の情報科学を専攻する 1 学年の学生数)

(単位：人)

区 分	人 数
大学 (静岡大学情報学部など 4 校)	660
高専 (沼津工業高等専門学校)	120
<b>小計</b>	<b>780</b>
技術専門学校 (沼津技術専門学校)	40
専門学校 (静岡産業技術専門学校など 4 校)	320
公立高校 (伊豆総合高校など 13 校)	1,080
<b>計</b>	<b>2,220</b>

私立高校は内訳が未公表のため、含まない

## 【現状・課題 2】

- 本県の医薬品・医療機器合計生産金額は、9年連続全国第1位で日本のトップであるが、新型コロナウイルス感染症により、医療用防護具等の不足等の課題が健在化したため、医療機器産業等の更なる基盤強化を進める必要があります。

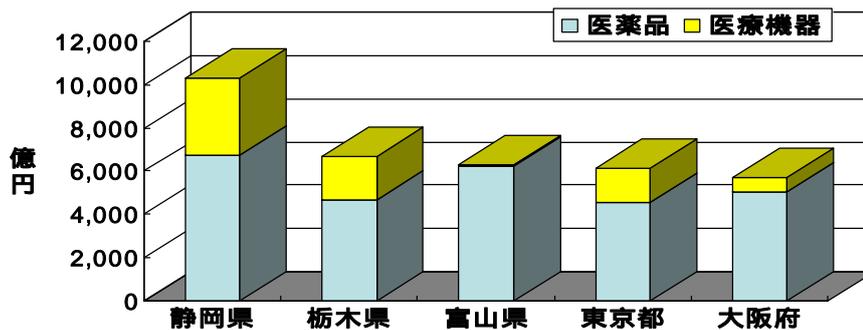
👉 **視点2 医療・健康産業等の先端産業の集積**

県では、新型コロナウイルス感染症により健在化した課題に対して、迅速に対応するため、補正予算により、不足する医療用防護具の生産や、医療現場の課題に対応する取組を実施する県内中小企業を支援しています。

主な取組➡ 医療・健康産業等の先端産業の集積

### 1 医薬品・医療機器合計生産金額

- ・ 本県の平成30年の医薬品と医療機器の合計生産金額は、1兆308億円で、平成22年から平成30年まで9年連続全国1位。
- ・ 医薬品生産金額は6,721億円で、2年連続で全国1位。また、医療機器生産金額は、3,587億円で、平成21年から10年連続で全国1位。



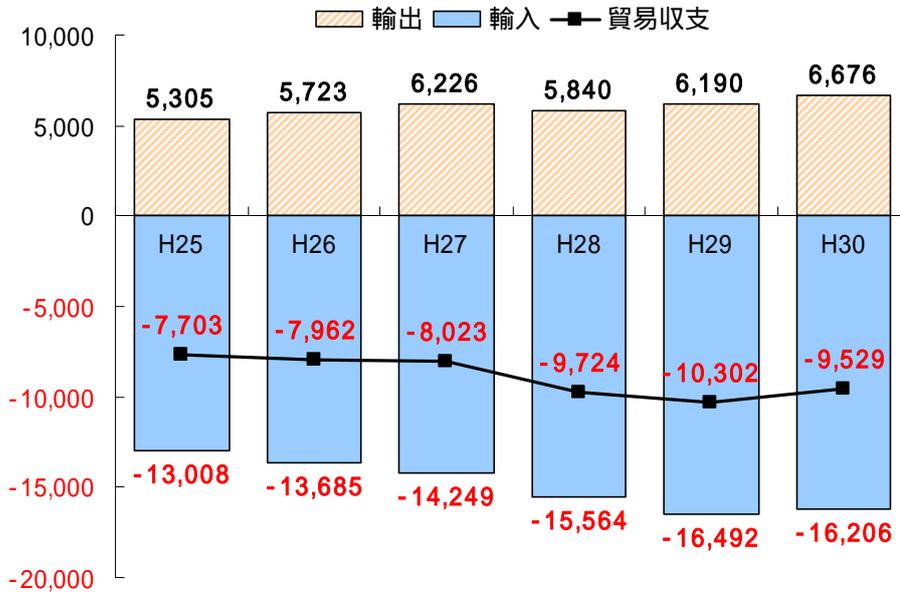
都道府県	平成30年 生産金額 (億円)					
	順位	合計	順位	医薬品	順位	医療機器
全 国	-	88,575	-	69,077	-	19,498
静岡県	1(1)	10,308 全国比:11.6%	1(1)	6,721 全国比:9.7%	1(1)	3,587 全国比:18.4%
栃木県	2(6)	6,674	4(7)	4,674	2(2)	2,001
富山県	3(2)	6,277	2(2)	6,246	41(41)	31
東京都	4(4)	6,131	5(5)	4,556	3(3)	1,575
大阪府	5(5)	5,719	3(3)	5,069	9(11)	651

( )内は前年順位

出典：厚生労働省 平成30年薬事工業生産動態統計

2 新型コロナウイルス感染症により顕在化した課題（必要性）

- ・ 医療用物資(サージカルマスク、医療用高性能マスク、アイソレーションガウン及びフェイスシールド等)は、医療従事者を感染から守り、医療提供体制を確保するため重要であるが、新型コロナウイルス感染症により需要に供給が追いつかず、必要量の確保が困難となる医療機関等が発生した。
- ・ 医療機器は、その製造を海外に依存しており、平成 30 年は、輸出額 6,676 億円、輸入額 16,206 億円で、約 9,529 億円の輸入超過となっている。



## 2 施策に関する県と市町、民間等との役割分担

区分	役割・取組等
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県全域を対象とした、「ふじのくに ICT 人材確保・育成戦略」に掲げた4つの階層毎の施策展開</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症により健在化した医療現場の課題を解決するため、本県のものづくり力を結集し、県内中小企業の医療健康産業への参入促進、医療機器産業等の基盤強化を図る</li> </ul>
市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浜松市はソフトバンク(株)と地域活性化や地方創生の取組推進を目的とした包括連携協定を2020年3月に締結</li> <li>・ 藤枝市はICTサービス業を行う企業を対象とした、新たなサテライトオフィス整備にかかる補助制度を2020年度に創設</li> <li>・ 島田市は島田ICTコンソーシアムの事務局として、産学官が連携したICT人材育成事業を展開</li> </ul>
企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人静岡情報産業協会によるICT人材育成講座の実施</li> <li>・ IT分野で活躍し、地域産業の活性化に貢献できる人材の育成を目的とした産学連携によるHEPT (Hamamatsu Embedded Programming Technology Consortium) の取組</li> <li>・ 県内中小企業は、医療用防護具の生産や、新型コロナウイルス感染症により顕在化した医療現場の課題解決の取組を実施することにより、新たな事業展開を図るとともに、県内医療機関へ医療用防護具や医療機器等を供給する。</li> </ul>
支援機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (公財)静岡県産業振興財団は、助成事業を実施するとともに、事業化まで一貫して支援することにより、成長分野に挑戦する県内中小企業を応援し、成長産業分野の振興を図る。</li> </ul>

3 主な取組

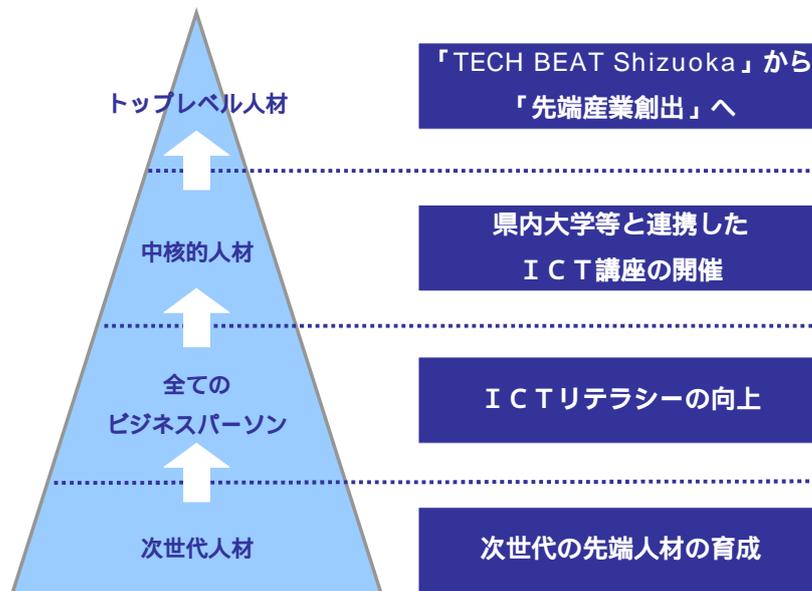
視点 1 デジタル実装の推進による「命を守る産業」の基盤強化

取組	県内産業のデジタル実装の促進 (人材確保・育成、IoT 導入促進)	担当課名	経済産業部 産業イノベーション推進課
目的 (何のために)	新型コロナウイルスの感染リスクの軽減と経済活動の両立を図るため、デジタル技術を活用して遠隔・非接触を促進するとともに、デジタル技術の実装による強靱な産業構造への転換を図ります。		

取組内容(手段、手法など)

**取組 1 : ICT 人材の確保・育成** (P18 参考資料)

第4次産業革命の進展等に伴う AI・ICT 人材の圧倒的な不足に対応するため、「ふじのくに ICT 人材確保・育成戦略」(H31.2 月策定)で掲げた4つの階層毎に施策を展開。



**(1) トップレベル人材**

トップレベルの ICT 人材を県内に呼び込み、県内企業の課題解決や新ビジネス創出のため、首都圏等のスタートアップ企業と県内企業の協業を促す「TECH BEAT Shizuoka」を県と静岡銀行を中心に実施。

本年度は、新型コロナの感染拡大やアフターコロナの社会変革を促す観点から、オンライン形式で開催。

[ TECH BEAT Shizuoka 2020 (令和2年度実績) ]

区分	内容
名称	TECH BEAT Shizuoka 2020
開催日	令和2年7月15日(水)、16日(木) オンライン形式で開催
内容	基調講演、スタートアップ企業等によるプレゼンテーション 個別商談会(オンライン)等
参加者数等	参加登録者数: 2,798人 のべ視聴回数 12,231回、商談件数: 320件(8月31日時点)



セッションスピーカー  
ポストコロナ社会におけるビジネスを共に学び、実践するための方法論をTECH BEAT Shizuokaで！

ゲストスピーカー スピーカー種別や決定！

 高橋 宏平 株式会社、クラウド株式会社 代表取締役	 オードリー・タン 台湾IT大臣	 高橋 宏平 株式会社、クラウド株式会社 代表取締役	 高橋 宏平 株式会社、クラウド株式会社 代表取締役	 高橋 宏平 株式会社、クラウド株式会社 代表取締役	 オードリー・タン 台湾IT大臣
-------------------------------------	------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------

〔(左) TECH BEAT Shizuoka 2020リーフレット〕

〔(下) 台湾デジタル担当大臣オードリー・タン氏インタビュー〕

2020. オンライン  
**7.15-16**  
お申し込みはこちらから  
<https://techbeat.jp/tech-beat-2020/>  
お問い合わせ TECH BEAT Shizuoka実行委員会 事務局  
techbeat@jp.shizugun.com



首都圏等の ICT 企業を県内に誘致するため、新たに県内に ICT 関連事業所を開設する企業に対して、開設経費等を支援。

〔 ICT 関連産業立地事業費補助金 〕

区分	内容
条件	県内に新たに設置した事業所において ICT 活用サービス業等を行う企業 高度な知識及び技術を有する ICT 技術者を配置すること 県内で継続的に 3 年以上事業を行う計画を有すること
補助額	1/2 ( ICT 交流拠点の整備 : 2/3 )
限度額	3,000 千円ほか
期間	3 年間

**(2) 各産業の中核的人材**

先端技術に対応できる知識や技能を習得した企業の中核的人材を育成するため、県内大学と連携し、企業ニーズを的確に捉えたICT関連講座を開催。

〔大学等連携講座（令和2年度計画）〕

区 分	内 容
静岡大学 連携講座	データ分析講座（静岡大学情報学部 高口准教授） 【基礎編】オンライン・3回開催（各回30名程度） 【応用編】オンライン・1回開催（30名程度）
静岡県立大学 連携講座	Pythonプログラミング入門、IoT及び情報セキュリティ、 わかりやすい機械学習 など5講座（各講座20～30名程度） （静岡県立大学経営情報学部 湯瀬教授ほか） 会場：県立大学（一部オンライン開催）
沼津高専 連携講座	中小企業経営×AI（沼津高専電子制御工学科 鄭教授） オンライン・1回開催（20～30名程度）



〔静岡大学等連携講座（令和元年度）〕

**(3) 全てのビジネスパーソン**

県内企業がオンラインビジネスを展開するため、「TECH BEAT Shizuoka 2020」のプレセミナーとして、テレワークやWeb会議などのデジタルツールを解説・紹介するオンラインセミナーを開催。（5月15日～29日 計3回）

〔アフターコロナ対策プレセミナー（令和2年度実績）〕

区 分	内 容	
第1回	5月15日(金)	コミュニケーションツールの使用方法、 オンライン契約の仕組み
第2回	5月22日(金)	Web会議ツール、オンライン販売の仕組み
第3回	5月29日(金)	情報発信に活用する文書、画像等の投稿ツール、 リモートワークに活用するツールの使用方法

**(4) 次世代人材**

次世代の ICT 人材を育成するため、学校や民間教室で習うプログラミング教育をベースに、新しいものを作り上げる場や成果発表する場として、小学生、中学生及び高校生を対象としたプログラミングコンテストを開催。

また、コンテスト入賞者等を対象とした「ITキャンプ」を実施し、世界で活躍できる ICT 人材の育成を目指す。

## 〔ジュニアプログラミングコンテスト（令和2年度計画）〕

区 分	内 容
参加資格	小学生、中学生及び高校生（特別支援学校生含む） 高専生等も含む
応募作品	【ソフト部門】ビジュアルプログラミング全般及び言語全般 【ハード部門】プログラミングロボット全般 作品のテーマは自由
募集期間	令和2年7月13日（月）～令和2年9月11日（金）
審査会	令和2年10月18日（日）（予定） ・オンライン形式で開催 ・入賞候補作品のプレゼンテーション、審査及び表彰式 等
協賛企業	株式会社アイエイアイ、医療法人社団 R&O、株式会社小糸製作所、株式会社静岡銀行、株式会社タミヤ、株式会社 TOKAI ホールディングス、ヤマハ発動機株式会社、株式会社サーティファイ、TIS 株式会社、富士通クライアントコンピューティング株式会社、株式会社マイナビ、株式会社ユピテル

## 〔ジュニアプログラミングコンテスト最終審査会・表彰式（令和元年度）〕



応募総数：184 作品

**取組2：中小企業へのIoT、ロボット導入促進**

**(1) 中小企業へのIoT導入促進**

中小企業の生産性の向上や経営力の強化、ビジネス機会の創出を目指し、企業や大学、産業支援機関、行政等が参加する「静岡県IoT活用研究会」を中心に、セミナーやビジネスマッチング、分科会における研究活動などを実施。

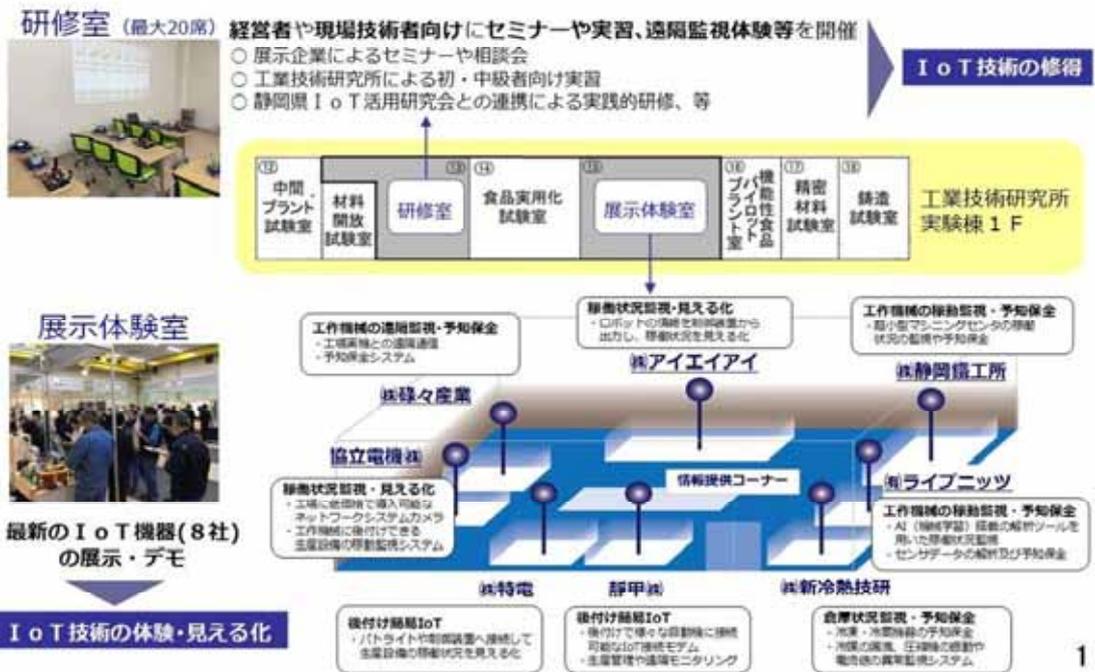
〔静岡県IoT活用研究会〕

区分	内容
設立	平成27年11月
会員数	279社・団体(令和2年9月1日)(企業228、金融機関15、行政等36)
活動内容	研究活動事業、個別企業支援、IoT活用事例普及、産学官連携・技術向上

中小企業の製造現場へのIoT技術や設備の導入を促進するため、工業技術研究所(静岡)に「静岡県IoT推進ラボ」を令和元年11月に開設。県内中小企業を対象に最新機器の見学・実演や、IoT関連のセミナーを開催。

**<静岡県IoT推進ラボの概要>**

～IoT等先端技術による県内製造業の生産性の革新を支援～



**(2) 中小企業へのロボット導入促進**

中小企業の製造現場を巡回訪問し、ロボット導入に関する相談や提案、システムインテグレータへの橋渡しを行う「ふじのくにロボット技術アドバイザー」を浜松工業技術支援センターに配置。

また、ロボットシステムインテグレートに必要な知識や技能、提案能力の習得を目的とした研修を実施。

〔ロボット導入支援（令和元年度実績）〕

区 分	内 容
ふじのくにロボット 技術アドバイザー	長谷川 徹 氏 活動内容：現場、ヒアリング、仕様の作成・提案、SIer への橋渡し 訪問企業実績：78 件
ロボットシステム インテグレータ 基礎研修	委託先：(一社)日本ロボット工業会 座 学：システム制御、電気・機械設計組立、画像処理等 実 技：基礎的なプログラミング、機械メンテナンス等 育成人数：20 名

視点2 医療・健康産業等の先端産業の集積

取組	医療・健康産業等の先端産業の集積	担当課名	経済産業部 新産業集積課
目的 (何のために)	本県企業の優れた技術力を結集し、医療現場で必要とされる医薬品・医療機器の開発など、新型コロナウイルス感染症により顕在化した社会的課題の解決に挑戦することで、「命を守る産業」への転換を図る		
取組内容（手段、手法など）	医療用資材の安定供給や医療機器産業等の基盤強化に必要な初期投資を重点的に支援するとともに、既存の補助金を活用して研究開発や製品化まで一貫して支援する。		
	マスク等生産設備への助成 【4月・6月補正】  中小企業等危機克服チャレンジ支援事業費助成（マスク等生産設備導入事業）	医療機器産業等の基盤強化 【6月補正】  医療機器産業基盤強化推進事業費助成	医療・健康産業等の先端産業集積【既存事業】  先端企業育成プロジェクト推進事業費助成
	<b>取組1：マスク等生産設備導入</b> （P.21 参考資料）		
	マスク等の衛生資材の安定供給のため、新たにマスク等の生産に取り組む中小企業・小規模事業者の設備導入を支援。 < 事業概要 >		
事業名	中小企業等危機克服チャレンジ支援事業 （マスク等生産設備導入事業費補助金）		
対象者	県内の中小企業・小規模事業者		
対象となる事業	新たに下記製品の生産に取り組む初期費用（機械装置等費、専門家謝金・旅費、建物改修費） <b>【対象製品】</b> 不織布マスク、サージカルマスク、医療用高機能マスク、医療用高機能ガウン、医療用防護服、フェイスシールド、消毒液（消毒用エタノール）		
補助率	3 / 4 以内		
補助上限額	1,000 万円		
募集期間	令和2年5月15日～令和2年6月5日		
要件	県内への優先的な供給に努める		

**取組 2 : 医療機器産業基盤強化** (P.22 参考資料)

新型コロナウイルス感染症により顕在化した、マスク等の衛生資材や人工呼吸器等の不足等の課題に対応するため、医薬品・医療機器産業の国内産業化の推進や、アフターコロナを見据えたデジタル化、遠隔・非接触への対応など、「命を守る産業」である医療機器産業の基盤強化の取組を支援。

## &lt; 事業概要 &gt;

事業名	医療機器産業基盤強化推進事業助成金
対象者	県内に拠点を置く中小企業 上記の中小企業を代表とし、民間事業者、大学及び研究機関等 2 者以上により構成されるコンソーシアム
対象となる事業	医療現場において、新型コロナウイルス感染症により顕在化した課題に対応し、「命を守る産業」の基盤強化に必要な資材、機器、システムなどの製品開発、生産等に係る経費を助成  ( 想定取組例 ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検査キットの製造に必要な研究資材や装置部品の開発</li> <li>・ 人工呼吸器等、輸入比率の高い医療機器の開発</li> <li>・ 健康状態を簡便に計測するチェックマーカーの開発</li> <li>・ 遠隔・非接触診療等を実現するロボットの開発</li> <li>・ 健康状態を遠隔把握するウェアラブル端末の開発</li> </ul>
補助率	2 / 3 以内
補助上限額	2,000 万円
募集期間	令和 2 年 6 月 26 日～令和 2 年 7 月 10 日
補助金事務局	公益財団法人静岡県産業振興財団

## 取組 3 : 先端研究開発

( P.23 参考資料 )

県、国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の連携協定に基づき、県内企業の先端的な研究開発や国の機関が保有する高度な技術シーズを活かした革新的な技術、新商品開発による高付加価値のものづくりを支援。

## &lt; 事業概要 &gt;

事業名	先端企業育成プロジェクト推進事業等補助金（研究開発）
対象者	県内に主たる事務所、事業所を有し、当該事業所等において産総研と共同研究を実施する中小企業又は中堅企業（ ）
対象となる事業	成長分野の新技术・新製品の实用化を目的とした研究開発を産総研と共同研究契約を締結して行う事業
事業期間	最長 3 年間
補助率	中小企業 2/3 ・ 中堅企業 1/2
補助上限額	中小企業 6,000 万円（3 年計 9,000 万円） 中堅企業 5,000 万円（3 年計 7,500 万円）
募集期間	令和 2 年 3 月 27 日～5 月 22 日

中堅企業とは、売上高が 1,000 億円未満又は従業員が 1,000 人未満の企業（中小企業を除く）。

## &lt; 事業概要 &gt;

事業名	先端企業育成プロジェクト推進事業等補助金（事業化推進）
対象者	先端企業育成プロジェクトに採択され研究開発支援事業を終了した中小企業又は中堅企業
対象となる事業	産総研と連携した成長分野にかかる新技术・新製品の研究開発を活用し、事業化を目的に実施する事業
事業期間	最長 2 年間
補助率	2/3
補助上限額	2,000 万円（2 年計 3,000 万円）
募集期間	令和 2 年 4 月 1 日～5 月 19 日
補助金事務局	公益財団法人静岡県産業振興財団

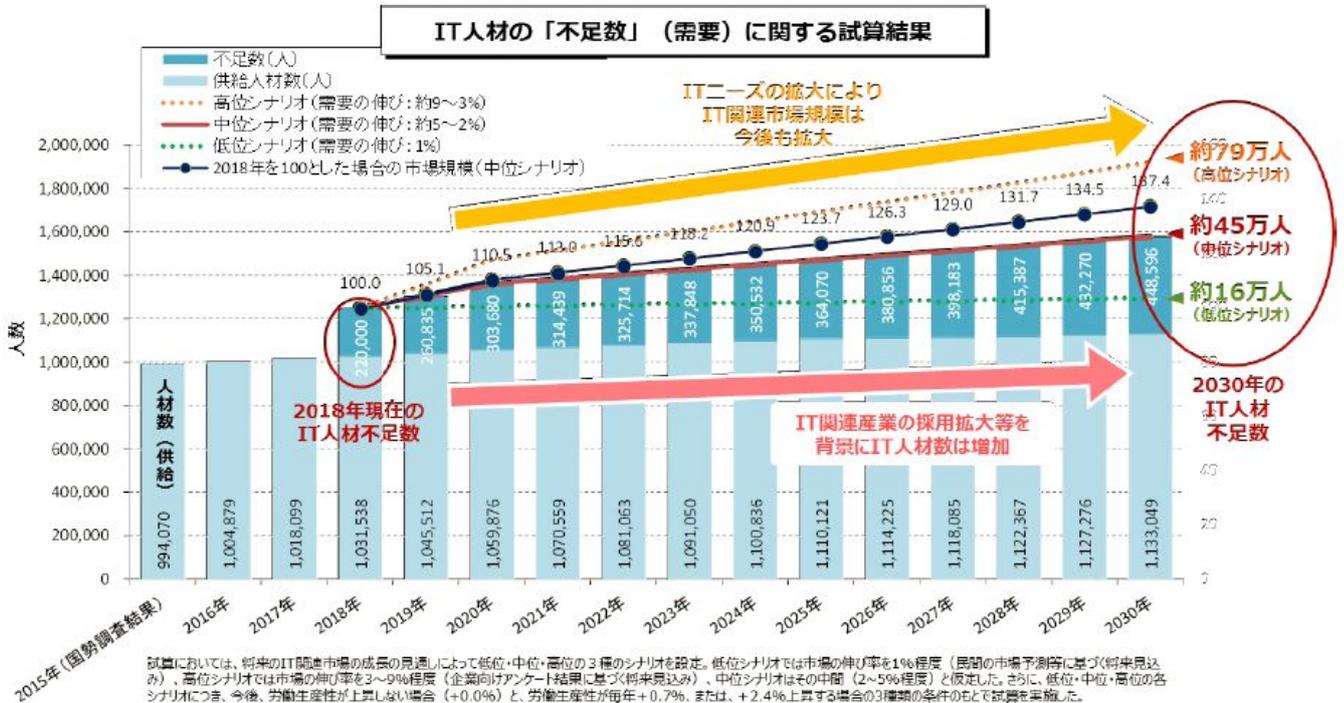
## 4 主要事業

事業名	重点項目	2020 予算額(千円)
ふじのくにICT人材育成 事業費	AIやIoTなどの先端技術に対応するICT人材の確保・育成	89,100
中小企業IoT活用促進事 業費	静岡県IoT活用研究会を中心にIoTの利活用を促進	14,500
中小企業ロボット導入促進 事業費	生産現場へのロボット導入を促進し、中小企業の労働生産性の向上	9,500
中小企業等危機克服チャレ ンジ支援事業(マスク等生 産設備導入事業費助成)	不織布マスク、サージカルマスク、医療用高機能マスク、医療用高機能ガウン、医療用防護服、フェイスシールド、消毒液(消毒用エタノール)を新たに生産するための設備等を導入する事業を支援	81,565
医療機器基盤強化推進事業 費助成	新型コロナウイルス感染症により、医療現場において、顕在化した課題に対応する取組を支援	210,000
先端企業育成プロジェクト 推進事業費助成 (委託研究除く)	成長分野において、産総研との共同研究による新技術・新製品の実用化、または成果を活用した事業化を目的とした事業を支援	207,155
	その他取組を含めた合計	611,820

視点1 デジタル実装の推進による「命を守る産業」の基盤強化 関連資料

< ICT人材の確保・育成 >

< ICT人材の需要予測 >



(出典：IT人材需給に関する調査/平成31年経済産業省)

< TECH BEAT Shizuoka の協業事例 (県内企業×スタートアップ) >

協業企業	協業内容
丸山製茶 (掛川市) × LOAD & ROAD (東京都)	<p>「IoT ティーポットを活用した新しいお茶の飲み方の提案」</p> <p>茶葉の販売量が低迷する中、茶葉の利用を促進するため、新しいお茶の飲み方や商品開発を模索する丸山製茶が、お茶の種類や、利用者の体温・心拍数や外気などの条件を分析し、最適なお茶を抽出するIoT ティーポットを開発したLOAD &amp; ROAD と資本業務提携契約を締結。ティーポットに最適なお茶葉（オリジナルブランド）を開発する新事業に着手している。</p> <p>お茶の需要の創出や、県内の茶産業の活性化に資する協業と評価され、令和2年度の「TECH BEAT Shizuoka アワード」で静岡県知事賞を受賞。</p>



<ジュニアプログラミングコンテストの令和元年度受賞作品>

応募件数 184 作品

部 門	部 門 賞	学 校 名	学 年	名 前	作 品 名	
小学生の部	ソフト	優 勝	静大附浜松小（浜松市）	4年	長谷部 環	Virus Buster
		準優勝	長泉小（長泉町）	6年	藤田 康佑	化学学習ゲーム
		企業賞 （TIS賞）	岡部小（藤枝市）	3年	三浦 玄誠	食物アレルギー チェッカー
	ハード	優 勝	大里西小（静岡市）	5年	熊切 雅斗	ボーンティラノ
		準優勝	中部小（愛知県）	5年	原田 悠生	ルーレット付き 自動販売機
		企業賞 （TOKAI賞）	第四小（沼津市）	5年	萩原 冬眞	洗濯予報孔明くん
中学生の部	ソフト	優 勝	相良中（牧之原市）	2年	藤村 空蘭	日本語ワープロ検定練習
		準優勝	東中（静岡市）	1年	井上 裕斗	Daikichi
		企業賞 （静岡銀行賞）	丸塚中（浜松市）	3年	礒田 彩那	私の街 浜松
	ハード	優 勝	東豊田中（静岡市）	1年	佐藤 慶宥	我が家の防犯ロボット
		企業賞 （TAMIYA賞）	袋井中（袋井市）	1年	若林 健悟	見守りロボット
		企業賞 （IAI賞）	清水第七中（静岡市）	2年	塚田 恵人	テーブルスイーパー
高校生の部	ソフト	優 勝	ユト`アカ`ミ-高（静岡市）	1年	納本 穂高	MaterialJump Next
		準優勝	掛川工業高（掛川市）	3年	渡邊 時覇	Cafecoder Forums
		企業賞 （マイナビ賞）	浜松工業高（浜松市）	2年	木村 怜	HAMAKO_portfolio
	ハード	優 勝	沼津高専（沼津市）	3年	中村 晃盛	年長さんでもラジコン プログラム
		準優勝	静岡翔洋高（静岡市）	1年	梶山 稜輔	自動温度制御器
		企業賞 （富士通賞）	静岡市立高（静岡市）	1年	井柳 利功	不審者検知 通報プログラム



高校生の部ソフト部門優勝作品  
「MaterialJump Next」



高校生の部ハード部門優勝作品  
「年長さんでもラジコンプログラム」

<用語解説>

用語	内容
I C T	「Information and Communication Technology」(情報通信技術)の略。情報や通信に関連する科学技術の総称。特に電気、電子、磁気、電磁波などの物理現象や法則を応用した異界や器具を用いて情報を保存、加工、伝送する技術のこと
I o T	「Internet of Things」(モノのインターネット)の略。あらゆる「モノ」がインターネットに接続することにより、制御できたり、情報が取得できたりする仕組み
A I	「Artificial Intelligence」(人工知能)の略。人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断を、コンピュータを中心とする人工的なシステムにより行えるようにしたもの
ロボットシステム インテグレータ	ロボットを使った機械システムの導入提案や設計組立てなど、システムを構築する作業のことをシステムインテグレーションといい、その担い手となる企業のことをS I e r (ロボットシステムインテグレータ)という

## 視点2 医療・健康産業等の先端産業の集積 関連資料

## &lt; マスク等生産設備導入 &gt;

## &lt; 事業概要 &gt;

事業名	中小企業等危機克服チャレンジ支援事業（マスク等生産設備導入事業費補助金）
対象者	県内の中小企業・小規模事業者
対象となる事業	新たに下記製品の生産に取り組む初期費用（機械装置等費、専門家謝金・旅費、建物改修費） 【対象製品】 不織布マスク、サージカルマスク、医療用高機能マスク、医療用高機能ガウン、医療用防護服、フェイスシールド、消毒液（消毒用エタノール）
補助率	3 / 4 以内
補助上限額	1,000 万円
募集期間	令和2年5月15日～令和2年6月5日
要件	県内への優先的な供給に努めること

## &lt; 補助実績 &gt;

区分	申請者	品目
1	(株)アライブテック	マスク
2	(株)林本建設	マスク
3	(株)美浜工業	マスク
4	(株)ユニティ	マスク
5	(株)エムケイテック	フェイスシールド
6	(株)グローバルサンワ	フェイスシールド
7	富士護謄産業(株)	フェイスシールド
8	メガロ化工(株)	フェイスシールド
9	(株)安田製作所	フェイスシールド
10	(株)コーヨー化成	消毒液

視点2 医療・健康産業等の先端産業の集積 関連資料

< 医療機器産業基盤強化推進事業 >

< 事業概要 >

事業名	医療機器産業基盤強化推進事業助成金
対象者	県内に拠点を置く中小企業 上記の中小企業を代表とし、民間事業者、大学及び研究機関等2者以上により構成されるコンソーシアム
対象となる事業	医療現場において、新型コロナウイルス感染症により顕在化した課題に対応し、「命を守る産業」の基盤強化に必要な資材、機器、システムなどの製品開発、生産等に係る経費を助成
補助率・補助上限額	2 / 3 以内・2,000 万円
募集期間	令和2年6月26日～令和2年7月10日
補助金事務局	公益財団法人静岡県産業振興財団

< 補助実績 >

区分	申請者	内容
1	NanoSuit(株)	イムノクロマト_NanoSuit 法による簡便・迅速・高感度検査技術開発
2	(株)タウンズ	光ディスクと ELISA の融合による高度な POCT 対応装置の開発
3	唾液採取容器・システム開発コンソーシアム 代表機関：(株)テクノスルガ・ラボ	PCR 検査向け唾液採取容器、感染リスクの極低減回収システムの開発
4	(株)システム・ジェーピー	ウイルス付着防止シート・コーティングの開発・製造
5	(株)アールテック	外科手術のための医療 3 D 画像支援システムの開発
6	大村興業(株)	新型コロナウイルス検出試薬における地域病院や多様な医療関連施設への普及を考慮した『新仕様』の生産
7	静岡県立大学・キャンパス コンソーシアム 2020 代表機関：(株)キャンパス	免疫応答に着目した COVID-19 治療薬の開発
8	(株)TRINC	医療従事者・患者を感染から守るための浮遊/付着ウイルス高速・高効率回収装置の開発
9	村田工業(株)	コロナウイルス拡大に対する検体検査装置の国内増産要望対応（電線加工方式を圧着端子方式から圧接端子方式へ変更し増産に寄与する）
10	(株)トライテック	看護師へのコロナ感染リスクを低減するための医薬品注入器の商品化
11	(有)菅造型工業	新規導光性経鼻栄養カテーテルによる先端位置検出システムの開発及び販売
12	(株)パパラボ	IOT 技術による血液製剤品質管理システムの開発
13	(株)ビートセンシング	調剤用 錠剤の散剤化および散剤の顆粒化装置
14	サカイ産業(株)	CT 検査装置用天板増産対応に対する生産システム構築
15	(株)旭エンジニアリング	新型コロナウイルス PCR 検査用トレーラーハウス開発
16	(有)岩倉溶接工業所	医療従事者の命を守る飛沫防止フレームの開発
17	(株)トライ・カンパニー	簡易型二酸化塩素発生装置の改良と量産化

視点2 医療・健康産業等の先端産業の集積 関連資料

< 先端企業育成プロジェクト推進事業 >

< 事業概要 >

事業名	先端企業育成プロジェクト推進事業等補助金（研究開発）
対象者	県内に主たる事務所、事業所を有し、当該事業所等において産総研と共同研究を実施する中小企業又は中堅企業（ ）
対象となる事業	成長分野の新技术・新製品の实用化を目的とした研究開発を産総研と共同研究契約を締結して行う事業
事業期間	最長3年間
補助率	中小企業 2/3・中堅企業 1/2
補助上限額	中小企業 6,000万円（3年計 9,000万円） 中堅企業 5,000万円（3年計 7,500万円）
募集期間	令和2年3月27日～5月22日

中堅企業とは、売上高が1,000億円未満又は従業員が1,000人未満の企業（中小企業を除く）

< 補助実績 >

	申請者	内容
1	アドバンスコンポジット株式会社 (富士市)	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発
2	株式会社アールテック (浜松市)	EVARによる低侵襲血管内治療のための画像支援システムの研究開発
3	株式会社三共製作所 (菊川市)	SelfA傾斜計の開発による5軸加工機用傾斜円テーブルの超精密姿勢計測技術の確立
4	株式会社ノダ (静岡市)	静岡県産材を有効活用した、超薄厚エレメント木質ボードの開発

< 事業概要 >

事業名	先端企業育成プロジェクト推進事業補助金（事業化推進）
対象者	先端企業育成プロジェクトに採択され研究開発支援事業を終了した中小企業又は中堅企業
対象となる事業	産総研と連携した成長分野にかかる新技术・新製品の研究開発を活用し、事業化を目的に実施する事業
事業期間	最長2年間
補助率	2/3
補助上限額	2,000万円（2年計 3,000万円）
募集期間	令和2年4月1日～5月19日
補助金事務局	公益財団法人静岡県産業振興財団

< 補助実績 >

	申請者	内容
1	東海部品工業株式会社(沼津市)	国産技術による人工股関節ステムの量産化、品質保証体制の確立